

# さくらの花だより

豊中市教育委員会  
学校教育課計画係  
令和4年(2022年)7月  
NO. 11

## 一人ひとりが主役となり、つながいを大切に し、学年をこえて助け合える学園をつくる ～児童会・生徒会交流会開かれる～

7月22日(金)、庄内さくら学園中学校の多目的室において、3小1中の「児童会・生徒会交流会」が開かれました。

庄内小、島田小、野田小そして庄内さくら学園中学校では、来春開校する庄内さくら学園の児童・生徒会のあり方を考えていくためのアンケート活動をそれぞれ行い、今回の交流会にその結果を持ち寄りました。集まってきた児童生徒33名は、7つのグループに分かれ、「児童生徒会の目標は?」「児童生徒会の名称は?」「専門委員会を補填するボランティア的な集まりは必要か?」「オリジナルマスコットキャラクターは?」等の項目について一つひとつ話し合い、方向性を決めていきました。まず「児童生徒会の目標」については、庄内小・野田小からは「みんなで協力して、全員が平等に明るく安心できる個性あふれる学校」、島田小からは「みんなが協力し合い、学年をこえて仲良くできる楽しい学校」、そして庄内さくら学園中学校からは「一人ひとりが主役となり、つながりを大切に、学年をこえて助け合える学園をつくる」というものが出されました。この3つの案をもとにしてグループごとで話し合い、改めて文章を整理し7案を提示し、全体で多数決をとったところ、表題にあるように庄内さくら学園中学校があげてきた目標に決まりました。つづいて、児童生徒会の名称の候補としては、「桜プロジェクト」「SZS(Sさくら学園 Zじどう Sせいとかい)」「桜会」「さくら会」の4つがあげられ、話し合いの結果、「さくら会」に決まりました。“庄内さくら学園の全員が「さくら会」の一員です!”ということになります。そして専門委員会を補填するボランティアとして、中学校から出されていた「オールマイティーズ」は、やっぱり必要ということになりましたが、名称については今後検討していこうとなりました。またオリジナルマスコットキャラクターについても、小中から3つの案が出され、右にあるような「竜をモチーフに桜をあしらったキャラクター」に決まりました。(名前はまだ決まっていません)

一定の方向性がそれぞれ決まったところで、最後に「ジャスチャーゲーム」を行い、みんな積極的に参加し、とても楽しく盛り上がる会となりました。ご苦労さまでした。



さくらオリジナル  
キャラクター

## まちごと暮らスクール体験会が行われました

来春開校する「庄内さくら学園」の放課後に“音楽”“ものづくり”“スポーツ”“食”を子どもたちが体験できる環境をつくっていかうとのコンセプトのもと、7月23日(土)に、まちごと暮らスクールの体験会が行われました。「まちごと暮らスクール一日校長」の長内豊中市長の「開校宣言」でスタート。ヴァイオリン教室、インラインスケート、プログラミング体験やものづくりワークショップそしてeスポーツ(トークイベントも)が午前中は庄内小・野田小体育館で、午後には島田小体育館で行われ、参加してきた子どもたちは、それぞれのブースに分かれ、楽しく活動していました。「子どもたちが夢中になれるものを見つけ出し、未来を切り拓いていける力を」の願いがこもった体験会となりました。今回の体験会を受けて、2学期以降には庄内小・野田小、島田小でモデル実施する予定です。

